

# みらいだより

令和5年2月1日



長引く寒波が続いています。今年は寒さもいっそうに身にしみます。子どもたちは、寒い中でも、雪合戦をしたり、氷で遊んでいます。小さいクラスの子どもたちも、雪に興味津々、目をきらきらさせています。4月にむけて入学、進級へと楽しみな毎日ですが、友だちとの関わりや園生活の充実感を味わいながら、心も身体も元気に過ごしていきたいと思います。

## 子どもの主体性を尊重する保育環境

### 保育室の環境

子ども一人ひとりの興味関心を温かく受け止め、夢中になって遊び込めるよう、様々な種類の遊びの環境が充実していること。

### 自然保育

山、川、海、森、公園を保育に取り入れて楽しむ。自然の中で自由に遊べる空間と時間があり、遊びが無限にある自然の中で過ごすことが充実していること。

2月		
日	曜	行事予定
		個人懇談(どんぐり・たけのこ・りす・うさぎ・そら) ~2/10
3	金	節分会
4	土	保護者交流会(どんぐり) 弁当日
7	火	リズムリハーサル(8:40分までの登園)
10	金	雪遊び(ひかり) 順延日 2/22
14	火	リズムリハーサル(8:40分までの登園)
18	土	第8回 リズム発表会 弁当日
21	火	身体測定(どんぐり・たけのこ・ひかり)
22	水	身体測定(りす・うさぎ・そら)

※変更の場合あり

※2月・3月の弁当日は、第1、3土曜日です。

## 『算数文章題が解けない子どもたち ことば・思考の力』今井むつみ

### 親子で話す過程を大切に

著者の今井むつみさんは、言語発達や認知発達が専門の慶応義塾大学教授です。算数の文章題が解けない背景には、文章を読み込む力や、視点を逆にするなど空間を把握する力が足りないことも考えられると、この本では紹介されています。

新聞に掲載されていた学びを深める家庭環境のヒントが、園でも大切にしている内容だったので紹介します。保育園の遊びが、就学後の学びに繋がっていることを再確認しました。

### ★視覚や聴覚、運動感覚などを使い、数量の感覚を養う

数字が直線的に並べられたボードゲームのすごろく遊び等をする。

### ★遊びの中で、数量や図形、空間を把握する

折り紙や積木、ブロックなど日常の遊びを通じて空間的な思考に慣れる。

### ★子どもと対話するときは「付き添う」気持ちを心掛ける

子どもの話に少しの時間でも耳を傾ける。子どもの話に興味を持って質問する。子どもが話している途中でバトンを奪わずに一通り話し終わるまで、ゆったり、うなづきながら聞く。

### ★本と出会える環境をつくる

親子で図書館や書店を訪れ、子どもが興味を示す本を探す。本について親子で会話する時間も大切にする。





### どんぐり(0歳児) 「つめたいね」

保育者が持っている雪を、不思議そうにじっとみつめ手を伸ばし触ってみます。雪の感触を手で確かめます。冷たい感触に驚き涙が出ます。見て、感じて、試してを繰り返し自然への驚きを経験していきます。

### たけのこ(1歳児) 「雪の上のあしあと」

雪で真っ白な雪原となった園庭へ、寒さを気にせず駆け出していきます。「みんなのあしがある」「これわたしのあし」自分のあしあとを振り返りながら歩きます。ふわふわの雪の上を歩く感覚を体験しながら、あしあとができる不思議にわくわくしていました。



### りす(2歳児) 「かき氷つくろう」

「かき氷つくりたい」と雪をかき集めます。「かき氷にシロップをかけて～」シロップは何にしようかと探します。雪を踏んでいると泥水になることを発見します。スコップで泥水をすくいシロップにみだてて白いかき氷の上にかけていました。

### うさぎ(3歳児) 「ひいらぎみつけた!!」

節分で鬼を追い払うひいらぎ探しに旭山へ。図鑑で調べたひいらぎの写真と見比べながら「これ、ぎざぎざだけどなんか違う」「あっ、これがひいらぎじゃ」「ひいらぎの葉っぱは、とげとげでいたいね」「だから鬼が来ないんだね」好奇心や探究心が芽生え、夢中でひいらぎを探していました。



### そら(4歳児) 「一周まわった!」

園庭に氷が張っているのをみつけ「これ大きい、重いね」「もっと大きいのみつけたよ」「はかりで計ってみようっと」「小さい氷は、ゆっくり針が動く」「大きい氷は、針が一周まわった」「これ、いくつ?」数量に親しみます。「なぜだろう」「どうなるかな」と思いを巡らせることで、物の性質や仕組みを感じ取っています。

### ひかり(5歳児) 「氷、できるかな」

「寒いから、明日氷出来るかな」「ペットボトルやペットボトルのふたに水を入れて実験してみよう」わくわくしながら準備します。次の日、「ペットボトルの水は氷ができた」「ペットボトルのふたの水は凍っていない」「なぜ?」「ペットボトルのふたは厚いから氷できんかった?」「また違う入れ物でやってみる」試行錯誤のなか、実験は続きます。

